

# 国立市のアンネのバラが 世界の平和に繋がることを願って



長谷川 正明 (はせがわ まさあき)

平成19年頃より国立市に「アンネのバラ」があることを知り、職員を訪ね、定期的にアンネのバラの手入れを行っています。“平和の象徴”であるアンネのバラを通して、平和について考えるきっかけを持っていただけだと願い、日々活動されています。

国立市のアンネのバラについて。

「アンネのバラ」は「アンネの日記」で知られるアンネ・フランクを偲び、ベルギーで作出された新種のバラです。国立市では、平成12年に「くにたち平和都市宣言」の記念に、新宿区のホロコースト教育資料館からもらい受けたアンネのバラの苗木がくにたち郷土文化館に植えられました。その後平成15年には、市民のボランティアグループから苗木の寄贈を受け、小中学校、図書館、市役所などに植えられました。

しかし、市役所のアンネのバラは手入れが行き届かず今にも枯れそうな状態になっていたところ、先にアンネのバラの手入れを手伝っていた瑞穂町の職員を通じて、国立市にもアンネのバラがあることを知った長谷川さんが、一緒に手入れして下さることになりました。その後長い年月のご努力により、国立市のアンネのバラは“国立市の平和のシンボル”として今日も市内各所で美しく咲き誇っています。

長谷川さんは、国立市民ではありませんが、この国立市でアンネのバラの手入れをはじめたきっかけと活動内容を教えてください。

瑞穂町の職員の方から教えていた

だきました。その後前町長さんからお聞きしたのですが、瑞穂町にアンネのバラを植栽するにあたり先に寄贈を受けた国立市長さんに問い合わせをしたのが、瑞穂町でアンネのバラの植栽が始まったきっかけでもあったと知りました。

活動内容としては、月1回程度、市役所のアンネのバラの定期的な消毒や剪定、その他栽培にかかる助言を行っています。年月を経て市役所など市内で美しく咲くアンネのバラを見た市民の方から「自分でも育ててみたい」という声が多く寄せられるようになり、平和の象徴と言われるアンネのバラを通じて平和について考える機会を持ってもらうために、平成27年からは毎年秋に一般参加者を募つての「バラのお手入れ講習会」を、2月には「追肥作業の会」を開催し、毎年多くの方にご参加いただいています。

バラの手入れをしている中で意識している事はありますか。

「アンネのバラ」のお手入れを通して私自身も戦争やホロコースト、アンネ・フランクについての書籍を読むようになり、平和について考えることも増えました。“平和のバトン”とも言われるアンネのバラをより多くの方に知ってもらうこと、平和を守る国立市に平和の象徴であるアン

ネのバラがいつまでも元気でたくさん花を咲かせ市民の方々の心を和ませるとともに、平和の幸せを感じていただけるよう心を込めて手入れをしています。

アンネのバラの手入れ活動を通して印象に残っている事を教えてください。

国立市民の皆さんは平和のシンボルであるアンネのバラに対しての思いれがとて高く、講習会に何度も参加して下さる方もいらつしやいます。活動を通して、私も皆さんから学ばせていただいています。

今後はどのような活動を行っていきたくを教えてください。

これまで通りに「アンネのバラ」を通して家庭の平和、身近なところにある平和に感謝し、世界の平和に繋がるようにアンネのバラを育成していきたいと思えます。

◀「アンネのバラ」のお手入れ講習会の様子

